

●はじめに

認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校（以下高大という）では①学習する②仲間づくり③健康づくりそれにプラス、少しでも社会への恩返しをしようと高大の活動方針にしていますが、このことを称して OKALS-V ということとします。これは Osaka Koudai Advanced Learning System Supported by Volunteers の略称です。これを全国に普及させるのが高大の使命です。

交流の場が広がりつつあります。関西から東京へ、さらには全国へと展開していきたいと考えています。

●基調方針

1. 認定 NPO 法人を活かし寄付金活動に力を入れる。ファンド部を中心にしてプロジェクト体制で推進します。
2. 大阪万博誘致の応援へ向けて協力体制をとり、高大としての OBP（大阪万博プロジェクト実行委員会）を活性化させます。
3. 創立 10 周年記念プロジェクトにより、平成 30 年 2 月～3 月のイベントを盛大に開催しましたが、本番の 2019 年 1 月 22 日・23 日の式典、シンポジウム、スポーツ交流大会、高大 FESTA を成功させたいと考えています。
4. 校名変更の取り組みについて特定非営利法人から認定 NPO 法人の冠部分のみの追加にとどめる決定しました。全面見直しは行わないことは決定しましたが、日常使用する、愛称は「コーダイ」となりました。今後デザイン化を受講生の応募により進めます。
5. 教育部門について
CD、受講生、講師との接点を更に持つようにするとともに、新一年レポートを軌道に乗せることとします。
また、曜日会議を開催しスピーディなジャッジを行い、課題を早期に解決し、人材発掘・活用に努めます。
6. 教科研究部門について
高大受講生 動態調査アンケートを 2 月中旬に実施しました。カリキュラム・受講体制、システムの検討並びに 2019 年度受講生募集要領の作成と新たな講師陣の発掘に努めます。各分野別に人員の増強を図ります。
7. ファンド・広報・総務について
HP のトップ画面のヘッドに、ファンド部のバナーを入れ PR するなど、寄付金活動を推進します。
パブリシティ（マスメディアを通じて広報活動）に力を入れ、ニュースリリー

スを拡充することとします。

高大全体の収益目標について経常収益の2%を目標とします。

8. 事業部門について

本来の事業部門としての機能を果たす為、新事業を発掘しチャレンジします。大阪アクティブシニア協会の解散に伴い受け皿となります。音楽会、養父市連携、被災者支援事業、伝統文化親子教室は引き続き実施します。

9. 情報管理部門について

HPのリアルタイムな情報発信、動画投稿を増やし、見やすい、魅力的なHP充実とスピードに挑戦する。法円坂子どもプラザ・子どものための科学フェスティバルはさらなる拡充を図ります。高大の一大イベントであります。

10. BSC部門について

DDS・AWARDに対する考え方と対処法を明確にし、社会参加・貢献活動の参加者の応募が増大する対策を図ります。併せて「修了後の活動の場」の充実を図るため具体的な活動事例の紹介に努めます。

また、V CONCIERGE部門の実働化を促すため、同窓会組織との連携強化を図ることとします。

11. 戦略部門について

第7回関西シニア大学校交流会の定着化と全国的展開を図る。今年は高大が幹事校です。「連携を深め、広く国内外の課題に目を向けて、相互交流や情報発信をしていく」の共同宣言に沿い、5年先を見据えた戦略として「高大経営基盤強化」の対策を推進します。

また、ゆめサロンの継続と実践を行い、あらゆる機会を通じて特別教材「高齢者が動けば社会が変わる」の活用を図ります。

12. 校友会部門について

高大同窓会の強化策を実施します。高大の同窓会として位置付けは、従来の同窓会&連協を解体して新たに同窓会作り、北地区（豊能、箕面、池田、豊中、吹田、茨木、高槻、摂津）は新たに結成しました。先ず同窓会北部としてスタートし、年内に各地区に体制が出来次第、順次結成する。他の大阪、旭、東淀川、東部、南部、八尾、枚方7地区は現行のままで新同窓会となります。高大と同窓会との関係を密にするため、クラブ活動のコラボレーションを実施します。

また、同窓会の発展、拡充を促進するため、2018年度別途予算として150万円を計上し、2019年度からは全受講生が全員入会に向けた取り組みを検討します。

13. 高大グループの拡充を図り、事業運営を同じ方向性で進めベクトルを合わせます。大阪アクティブシニア協会は一定の役割を終えたので解散します。引き続き、大阪区民・府民カレッジと歩調を合わせ事業の拡大に全面的に協力します。

14. 募集委員会について

斬新な発想で幅広く人材を集め、さらなる知名度アップに努力します。

15. なにわの宮会について

発足して2年を迎え高大理念を推進する母体となれるよう、体制を再構築します。

●教育部門

10周年を機に教育部門の足元をしっかりと固める、運営・活動を実施します。そしてよりよい高大を目指して、先を見据えた各種施策を企画・立案し実践します。

1. 高大運営の中核を担うCDは高大の宝(財産)であるということを念頭に、CD研修・サポートをしっかり行い、高大のよき理解者となっただき、将来の高大像を見据えて共に歩みながら組織の活性化・革新化を進めます。
2. CDの前後には講師、受講生がいることを忘れず、CDが上手く活動できる様に教育部門は最大限のサポートを行い、エンジョイCDを実践していただきます。特に新しいCDの方を中心に高大運営にも役立ち、また人格形成にも役立つ様な通年研修を試みます。
3. 曜日部長は少なくとも担当曜日全体を掌握し、CD・受講生から今まで以上に信頼を得られる曜日運営を実践し、即決即断型で頼られる曜日部長を目指します。
4. 教室訪問は受講生との接点を増やせる様に、午後に重点を置き将来の高大の中核を担う人材発掘に努めます。
5. マンネリ化打破、何か今までと動きが違うなあ～、何か期待が持てそうだなあ～というイメージを持っていただける様に「現行の流れの中で活動する」のではなく、「やりがいのある新しい流れ」を創っていきます。
6. 高大全体でいろいろな意見・提案等を誰でも、いつでも、どこでも言える「教育部門にモノ申す」という流れを創り、先を見据えた教育部門の改革を実践していきます。
7. 新一口レポート、担当CDの選任方法、曜日CD会議などの各種会議、高大白熱教室、社会への参加活動、高大の各種イベントなどにも積極的にメスを入れ改善・改革を進めます。
また、会議内容も含め、各種情報も出来るだけ多くの人にスピーディに流し「共に考え、共に行動する」を実践していきます。
8. 創立10周年コーダイFESTAでは、従来の高大祭やスポーツ交流大会とは違った新しいアイデアや企画を取り入れ、受講生やOBを含めて「皆で企画、皆で参加」出来る楽しいコーダイFESTAを実践します。
9. 高大と高大同窓会は車の両輪となり得る様な活動を積極的に仕掛けながら、魅力ある同窓会を目指して高大と協働します。そして、多くの受講生、修了生が高大同窓会に関心を持ち、加入したくなる様に活動します。

<本科教務部>

本科は昨年度より 3 科目増え 50 科目となり、年々増える傾向にあります。特にクラスミーティングのあり方について見直し、午後の時間が高大方事に追われるのではなく、より有効活用出来る様なシステムを検討いたします。

<実践研究部>

SA を含めて昨年度より 3 科目減り 15 科目と年々科目が減少しつつあります。実践特有の午後の自主運営について見直し、本科との違いを明確にすると共に、より充実した午後の時間を目指した検証を致します。

また、本科と実践研究部との違いをより明確にし、実践研究部特有の運営システムを検証します。

<学習事業推進部>

学習事業推進部の柱はスポーツ、高大方の取り組みです。1 月 22 日、23 日に行われる「創立 10 周年記念コーダイ FESTA」の成功のため、記念式典、シンポジウムと並んでスポーツ、高大方が盛大に行われることが重要です。

そのために、次の 3 点を中心に進めます。

1. スポーツ、高大方を 1 本化し「コーダイ FESTA」として新たに出発させます。
2. これまでの取り組みをリセットし、新しい企画を取り入れて皆が喜んで参加できる楽しいイベントにします。
3. 創立 10 周年の総決算と未来へのステップの出発点になるよう、広く内外にアピールできるイベントにします。

<校友会連絡部>

1. 高大方 BSC 部門と協力して、校友会への入会募集活動を本年も推進いたします。
2. 高大方主催の創立 10 周年コーダイ FESTA、夏・冬の音楽会等に参加協力をいたします。
 - (1) 高大方主催の行事に参加し、校友会入会募集活動を促進いたします。
 - (2) 高大方と校友会との共催で実施する親睦一泊旅行への参加協力を推進いたします。
 - (3) 創立 10 周年コーダイ FESTA には、校友会メンバー(高大方同窓会を主体として) 展示、演芸会に参加いたします。
3. 本年 7 月に高大方同窓会フェスタを実施し、新同窓会推進協議会として会員相互の融和と結束をはかります。

<シニアスポーツ推進部>

1. 生涯スポーツディレクター (以下 SSD) 高大方グループは、本年の 10 周年コーダイ FESTA におけるスポーツイベントで競技指導・審判協力を致します。

- また、シニア向けの各地域にニュースポーツの出前サポートに協力を行います。
2. 「大阪マラソン」は昨年 500 名、「大阪国際女子マラソン」は 215 名のボランティアが参加致しましたが本年も、大阪府、産経新聞社に協力し、ほぼ同数程度の参加をいたします。
 3. (公財)日本相撲協会との提携で大相撲名古屋場所・大阪場所の切符斡旋を行い、高大相撲観戦クラブとして、大相撲観戦を推進いたします。
 4. 生涯スポーツディレクター養成講座を、本年も実施致したいと思います。
 5. 「河内音頭大会」八尾市久宝寺緑地へ高大、高大同窓会東部、八尾、南部の 4 団体が参加いたします。
 6. 脳トレの一環として、「スポーツ健康麻雀大会」を実施いたします。

●教科研究部門

生涯学習の将来を見据え、時代の流れや環境の変化を先取りし、魅力ある高大を構築し続ける部門として「ゆとり、楽しさが味わえ、笑顔あふれる活動」をモットーに「わくわく・ドキドキするカリキュラム開発・講師の発掘」を図ります。

また、百の理屈よりも一つの実践を基本に考え、まずは実践行動します。(PDCA から Do-CAP へ) 具体的には授業スタイル・カリキュラムの改革、ジャンル別講師陣の開拓を図ります。

今期の主な運営方針は次の通りです。

1. 講師、CD、受講生の皆さんに、「三現主義」を実践し、CD から見える分野担当を徹底し信頼を得るようにします。(CD から頼られる分野担当)
2. 素直な気持ち、自然体を前提に「先駆的なカリキュラム」の構築「魅力ある講師」の発掘を愚直に進めます。
3. 講座改革委員会の効率的運営を図ります。(開催頻度、時間の見直し他)
4. 講座改革の運営組織として「分野別専門分科会」から自由度の高い「サポーター制度」を導入し、効率的な運営でメンバーの負担を減らします。
5. 「講座提案制度」を継続的に実施し、受講生は勿論のこと全高大関係者から広く提言・提案を募り、講座に関わる内容の魅力度、満足度を高め続けます。結果として、創造的な活動で新規科目の採用、既存科目のバージョンアップ・新陳代謝を図ります。
6. 教科研究部長を増強し強化すると共に、CD から頼りにされる担当分野の専門家集団を目指します。又「人財バンクシステム」活用を前提に見直しを図ります。
7. 「高大生の総合意識実態調査」の内容を見直すと共に、効率的に実施・回収・集計分析ができるように致します。又、結果を受講生・スタッフ他にタイムリーに情報公開し、高大として講座改革に活用します。
8. 受講生から喜ばれ、期待される「市民公開講座」を実施致します。

●事業部門

<事業企画部>

1. 文化庁助成金事業・伝統文化親子教室に関して助成金事業を開催します。
2. 高大と養父市学習連携事業は更新協定締結に基づき推進します。
 - (1)特に「養父市に行ってみませんか！」を積極的に推進し、校外学習、遠足、修学旅行イベント等への参加増加を図ります。
 - (2)スポーツ交流大会、コーダイ FESTA で養父市コーナーを設け、PR と特産品販売を行います。
 - (3)連携の円滑化と発展を協議する為に学習連絡会を開催いたします。
 - (4)大屋地区棚田で栽培される無農薬栽培の温石米オーナー制度に引き続き加入いたします。
3. 企業との学習連携を継続します。

昨年度は大和ハウス株式会社「充実ネクストライフサポート事業」を通じて企業との学習連携を始めました。本年度は大和ハウスとの連携を深めると共に他企業との新規開拓にも努めます。
4. 高大ブランド商品の開発に取り組み、創立 10 周年記念グッズ販売を計画いたします。
5. 大阪アクティブシニア協会の事業を引き継ぎ、「大阪出前サポートバンク事業」を主体に継続実施いたします。

<イベント部>

1. 講習会、講演会、見学会は昨年と同じ内容で実施致します。
 - (1)「普通救命講習会」

受講生の急な事態に素早く対応できるスキルを学ぶための講習会を開催いたします。
 - (2)「特殊詐欺防止講習会」

高齢者を狙う特殊詐欺(振り込め詐欺、還付金詐欺等)防止のための講習会を開催いたします。
 - (3)「四天王寺の歴史に学ぶ」講演会、見学会
例年通り大阪の歴史遺産である「四天王寺の歴史」に関する講演会と境内の見学会を開催いたします。
 - (4)「(お酒の) うんちく講座」講演会
第 4 回目として焼酎(未定)のうんちく講座を開催いたします。
2. 音楽会を昨年と同様年 2 回開催します。
 - (1)「第 7 回サマーコンサート」

2018 年 8 月 26 日(日)、エルシアターを会場として。弦楽四重奏「ドルチェ」他全 9 名の出演で開催いたします。
 - (2)「第 11 回いずみホール音楽会」

2019年2月16日(土)に開催いたします。出演は大阪音楽大学を予定。内容は未定です。

<被災地支援部>

1. 東日本大震災による被災避難者で関西に居住されている2名を特待生として受け入れます。
2. 被災地支援を目的として、2018年8月27日(月)から29日(水)まで2泊3日の旅行を計画いたします。
3. 被災者支援団体等の組織、各種イベントに参加し連携した活動に取り組みます。

●情報管理部門

<教務事務部>

1. CDの交通費と講師の謝金管理システムの円滑な運営に努めます。
2. 受講生台帳の集計管理と出席簿の学期単位のデータベース化並びに修了証書と皆勤証書の発行を行います。

<システム部>

1. 募集データの集計システムにて新受講生へ合格通知、入学案内など入学準備の体制づくりを行います。
2. 受講生、講師、スタッフのデータベース化して個人情報の管理運営に努めます。

<子ども事業推進部>

1. 「法円坂子どもプラザ」科学ともの作り体験型教室は、2クラス80人で年間8回開催します。
2. 「第3回大阪科学フェスティバル」は天王寺区民センターで8月に1,500人規模で開催します。
3. 「ITパソコンお絵かき教室」は近隣幼稚園、小学校中心に12回以上開催します。

<ホームページ部>

1. 内容の充実とビジュアル化、告知・報告のスピードアップに努めます。
2. 募集情報、イベント情報をリアルタイムで更新します。
3. クラスでのブログを立ち上げ高大HPにリンクを推進します。
4. メールマガジンを毎月発信して1,000人以上の読者登録をめざします。

●B S C部門

1. SA 講座修了生（9期生）を対象にシルバーアドバイザー大阪府知事認定証取得に関する業務を推進、10月19日に認定証授与式を開催します。
2. 校友会とも一体となり受講生、修了生の社会参加活動を推進します。またボラパスによる社会貢献（ボランティア）体験ツアーも企画します。
3. 今年度も『DDS 活動』『KOUDAI AWARD』を募集し、発表会、表彰式を開催します。

●戦略部門

<調査・政策部>

1. 関西シニア大学校交流会及び勉強会
2018年度第6回関西シニア大学校交流会の締めくくりで、第7回の開催地として高大が幹事校に指名されました。これにより本年10月26・27日の両日大阪府において開催するため実行委員会を設立しました。今年度は高大が10周年を迎えることも配慮した内容の検討が必要と考えています。また、それに先立ち7月11日に勉強会を計画していますが、首都圏との交流結果を踏まえ、更に充実した論議が図れるように検討したいと考えています。
2. 「高大グループ構想」の検討
5年先を見据えた戦略に基づき、より具体的に高大の「経営基盤強化」につなげるため、高大グループ全体として経営基盤を強化する取り組みをスタートさせました。グループの中心にある高大の財務基盤や、人的な充実を図りながら、高大を取り巻く校友会や同窓会活動を含めた幅広いグループの取り組みとして、活動の具体的な展開を図ります。
3. 特別教材の活用に向けて
特別教材を活用したカリキュラム上の取り組み等の後追い調査を実施するとともにフォローすることが重要と考えています。平成28・29年度に実施した社会参加活動の実績や、対外的な活動などの実績記録をデータとして集積し、次年度以降の社会参加活動に役立てることとします。

<人材発掘事業開発部>

1. 「ゆめサロン」の開設
昨年度開設した「ゆめサロン」を受講生主体の自主的な活動として継続支援し、高大の発展や組織強化に資する企画については、高大の活動に参画できるよう積極的に取り組んでいきます。
2. 人材育成の強化
戦略部門が提案するテーマやゆめサロンで提案された意見や取り組みデータベ

ースにしてより深く論議を重ねる場を作ります。高大として実現していくもの、地域で取り組むべきものを明確にし、発案者だけでなく論議に参加する人たちが更に有効な活動に参画できるように配慮し、共に成長できるようにします。

●広報・総務部門

<広報部>

<広報誌>

1. 広報誌「れいんぼー」は年4回（4, 7, 11, 1月）充実した内容で発行致します。
2. 受講生の為の広報誌として、一方通行的な広報誌ではなく全員参加型の広報誌を目指すと共に企業広告の促進を進めます。

<パブリシティ>

引き続きプレスリリースの発信に努め、マスメディアへの働きかけを行ないます。また、SNSを活用して、「コーダイ」の認知度アップのために、積極的にPR活動を推進します。

<企業対応>

企業対策については現状顕著な効果は未だ見られないが、引き続き広報・募集活動を継続していきます。それと本年度は企業本体への対応を強化し、今後の賛助等の協力獲得に活動を傾注していくものとします。

<総務部>

- (1) 今年度は語学関係などの教科が福社会館へ移動したことから、受講生・CDの皆さんへご不便をおかけしますが、極力負担がかからないように努めます。
- (2) 今年度から、教員会館の教室が増えます。フロアは中2階の「スパーツィオ」320㎡収容人員150名～200名です。なにはのみやホールが他テナントと競合時に楽になると思います。
- (3) 教育会館のA・B棟の3階女子トイレ和式を洋式便器へ改修工事が行われます。

<経理部>

2018年度は、大阪府知事へ特定非営利活動法人の条例指定の認可を取得すべく、万全を期します。

また、経理部員の資質向上を目指しておりますので、経理処理については格段に改善してゆきます。

<事務局>

認定NPO法人の認定に伴う定款変更、並びに貸借対称表公告等の変更に伴う

所轄官庁への届け出を遅滞なく行うこととします。

<ファンド部>

ファンド部で戦略的に会費・寄付・協賛・助成等の活動資金調達を検討し、高大の NPO 活動の趣旨に賛同し、活動を支援していただける賛助会員の募集拡大に努めます。

●募集委員会

「2019 年度受講生募集」は「平成 30 年度受講生募集」の総括と応募結果の分析を行い、特に科目の選定と内容の充実を図り、定員の見直しと地域別受講生の分布を分析し、新規受講生の増加を図ります。

そして募集委員会を早期に立ち上げ、次の通り早め早めの取り組みを行います。

1. 「2019 年度受講生募集」の方針と骨子を早めに協議し決定します。
2. 府政だより、区民だより、市政だよりなど、府下市町村への広報活動を早い段階から開始し、校友会、地区 SA、同窓会などの組織を通じ、PR していきます。
3. 募集要項の案内チラシを作成し、府下で行われるイベントや企業 OB 会・同窓会に告知してまいります。募集要項は 32 頁冊子と 4 頁冊子の二種類作成し、それぞれの特色を生かした配布を行い、新規受講生の獲得に向けて行動します。また大阪府下に本社を置く企業 OB 会、同窓会にも募集要項と募集チラシを作成、配布し新規受講生の獲得を図ります
4. 地域別受講生の分布を分析し、オープンキャンパスの実施、講座説明会の開催場所、新聞広告、ラジオ広告など再検討し、受講生の少ない地域の対応を検討実施します。
5. HP での募集要項、応募状況をリアルタイムに掲載発信し、HP から受講申込が簡易になるように更に検討し、新規受講希望者への告知を図ります。

●高大・なにわの宮会

実行委員会は風通しの良い高大「元気なシニアの風ふかそう〜」を目指した活動をして参りました。

まだまだ、達成には及びませんが、5 年先、10 年先のビジョンを見つめ初期の計画を完成したと思います。

新たなメンバーで次のステップに進みます

●大阪万博プロジェクト委員会

2025 国際博覧会の開催地として、日本の好敵手とされたパリ市郊外サクレ地区での誘致を断念するというフランス首相の談話が 1 月 21 日に報道されました。パリが撤退したことは大阪にとって、有利な状況ですが、油断は禁物です。本年 11 月に

大阪とロシアのウラル地方のエカテリンブルク、アルゼバイジャンの首都バクーの3都市の中から開催地が博覧会国際事務局の総会で決定されます。

2025 日本万博誘致委員会も盛り上げのために、各所にポスター掲示や誘致のイベントなどを積極的に展開しています。高大としても勝手連の立場で、応援を継続したいと考えています。本年度の活動を以下のように行います。

1. 大阪府や誘致委員会からの応援などの要請に積極的に応えとともに、人脈づくりを図っていきます。
2. 昨年度より実施している「健康寿命に対する高大受講生の意識調査」の分析をし、その結果について広報します。1年目の結果を踏まえて、アンケート内容を再検討して2年目の調査を実施します。
3. 大阪が開催地に選ばれることが前提となりますが、前年度の提言を行った内容について、実効性のある具体的な事業計画の検討を行い、誘致委員会等へ提案を行います。
4. 誘致委員会などの情報を的確に把握して、高大の参画の可能性を検討します。

●「創立10周年記念」プロジェクト実行委員会

祝・創立10周年記念式典開催の年を迎えました。式典は「コーダイ FESTA」と称し2019年1月22日～23日の両日に大阪中央体育会館にて開催します。

コーダイ FESTA では、今までの慣習に捉われず、発想の大転換を図って楽しい企画を進めてまいります。

1. 各種アトラクション及びシンポジウムの企画。
2. 参加者全員が競技に参加できる、スポーツ種目の採用等の調査研究。
3. 学習成果発表として、展示・演芸・バザー・模擬店・講師によるアトラクション等盛りだくさんの企画を計画していきます。盛大な催しを計画しますので楽しみにしてください。

●大阪区民・大阪府民カレッジ

1. NPO法人大阪区民カレッジは大阪市内に中央校、北校、城東校、東成校、天寺校、西校の6校、NPO法人大阪府民カレッジは大阪府下に東大阪校、ひらかた校に加えて、堺校、大東・四條畷校、豊能校、富田林校、八尾校を開講し計7校となり、地域密着カレッジは合計13校516名の受講生を受け入れました。
2. 大阪府民カレッジの安定的な運営に、大阪区民カレッジ共々、連携して活動してまいります。
3. 来期、大阪市内、大阪府下に地域カレッジの設立の希望が寄せられています趣旨を確認しながら、支援してまいります。
4. 社会参加活動は区民、市民まつりなど、地域主催の行事や高大の行事に積極的に参加し、地域や姉妹校との交流に務めます。